

公益社団法人全国老人保健施設協会 長野県支部
長野県老人保健施設協議会

2024年度 第2回 全体総会

開催日 : 2025年3月31日(月) 13:30~

配信会場 : ホテルメトロポリタン長野

次 第

1. 開 会

2. 副会長挨拶

3. 議長選出

4. 総会成立報告

5. 議事録署名人選出

6. 議 事

- 第1号議案 2025年度 事業計画案について・・・・・・・・・・ 1
- 第2号議案 2025年度 事業予算案について・・・・・・・・・・ 3

7. 確認事項

- (1) 長野県老人保健施設協議会法人化準備金積み立てについて・・・ 4

8. 連絡事項

- (1) 令和6年度 第1回臨時社員総会から連絡・・・・・・・・・・ 5
- (2) 「ご当地ROKEN」長野県版完成のお知らせ・・・・・・・・・・ 9

9. 閉 会

総会終了後

- ・全老健共済会より 損害賠償保険等についてのご案内

第1号議案

2025年度 長野県老人保健施設協議会 事業計画案について

1. 会議

(1) 通常総会

年2回 2025年7月 2026年3月

(2) 役員会

年2回 2025年7月 2026年3月

(3) 関東甲信越ブロック代表者会議（支部長・事務局長）

年2回

(4) 臨時役員会 ※必要に応じて

2. 教育事業

(1) 職員全体研修会（集合形式またはWeb セミナー形式も含む）

年2回 2025年7月 2026年1～3月

(2) 専門部会事業（オンライン・Web 形式を活用した運営に対応）

部会名	活動計画
1. 看護・介護部会	部会全体研修会の開催 役員会の開催、各支部内研修会の開催 集合形式での研修会開催（各地区ブロックにて）
2. 食事サービス部会	部会全体研修会の開催 役員会の開催、各ブロック内研修会の開催 集合形式での研修会開催（各地区ブロックにて）
3. リハビリ部会	リハビリ部会研修会の開催 加算取得にむけたアンケート調査の実施 集合形式での研修会開催（各地区ブロックにて） リハビリに関連する加算取得に係る研修会の開催
4. 支援相談員部会	代表者会議の開催 集合形式での研修会開催（各地区ブロックにて） 各種加算算定に係る研修会の開催
5. 事務部会	事務部会研修会の開催 施設運営に関連した研修会の開催

3. 宣伝広告

- (1) 「医療タイムス」への掲載広告

4. 情報収集

- (1) 行政機関との連携、各種団体との協議・会議等への参加

5. 長野県への協力

- (1) 各種表彰関係に係る推薦

第2号議案

2025年度(令和7年度)長野県老人保健施設協議会 事業予算(案) (自 令和7年4月1日～ 至 令和8年3月31日)

2024年度累計繰越金(予定)	¥8,897,263
2025年度収入合計(予定)	¥3,433,409
2025年度支出合計(予定)	¥3,433,409
2025年度収支差額(予定)	¥0
次年度累計繰越金(予定)	¥8,897,263

I 収入の部

科目	収入額(予定)	内 訳	摘 要
1. 入会金収入(小計)	¥0		
A)正会員入会金		¥0	
B)準会員入会金		¥0	
2. 会費収入(小計)	¥3,306,800		79施設
A)年会費(正会員)		¥1,896,000	
B)年会費(準会員)		¥0	
C)ペット割		¥1,410,800	
3. 補助金(小計)	¥110,000		
A)全老健補助金		¥110,000	全老健支部 事務局補助金
4. 雑収入	¥16,609		
A)預金利息		¥3,609	八十二銀行 預金利息
B)活動費		¥13,000	事務局 会議出席
収入合計	¥3,433,409		

II 支出の部

科目	支出額(予定)	内 訳	摘 要
1. 会議費(小計)	¥930,000		
A)会場費		¥350,000	役員会・総会(2回) 臨時役員会(1回)
B)交通費		¥200,000	役員交通費・全老健会議交通費(2回)
C)諸経費		¥380,000	オンライン形式配信機材(2回)、食事代等
2. 研修会費(小計)	¥1,280,000		
A)会場費		¥350,000	全体研修会・各部会研修会・ブロック研修会
B)講師謝礼		¥270,000	全体研修会・各部会研修会・ブロック研修会
C)講師旅費		¥180,000	全体研修会・各部会研修会・ブロック研修会
D)諸経費		¥480,000	老健大会座長出張費、全体研修会委託費等
3. 宣伝広告費(小計)	¥235,000		
A)ホームページ管理		¥200,000	システム利用料、ドメイン維持、サポート費用(2026年1月更新)
B)出版物掲載費		¥35,000	新聞広告費掲載等(医療タイムス等)
4. 事務局費(小計)	¥858,000		
A)出張旅費		¥100,000	事務局交通費
B)通信費		¥300,000	通信費他
C)事務局委託費		¥240,000	事務局 家賃光熱費等(¥20,000円/月×12か月分)
D)賃貸費		¥18,000	印刷機・FAXリース代
E)諸経費		¥200,000	コピー費・消耗品、備品、振込手数料、委託費等
5. 予備費(小計)	¥130,409	¥130,409	冠婚葬祭、その他等
支出合計	¥3,433,409		

確認事項（１）

長野県老人保健施設協議会法人化準備金積み立て

第10回記念全国老人保健施設長野大会の開催に際して、「大会準備金」に充当し、その残金を「長野県老人保健施設協議会法人化準備金積み立て」として各施設より出資して頂くことを、平成10年2月3日の正副会長会、平成10年3月26日の理事会、総会で承認を受け実施した。

その額は、施設割りとして1施設一律月額1万円、ベッド割1床当たり月額1000円の合計額を、18ヵ月間の合計額を分割或いは一括で拠出した。

1. 拠出期間： 平成10年4月～平成11年9月の18ヵ月間
2. 拠出施設： 平成10年8月までに開設した59施設
3. 振込先： 八十二銀行臼田支店
口座名「第10回全国老人保健施設大会」
4. 現在残高： 金12,236,268円（2025年3月1日現在）

連絡事項（１）

令和6年度 第1回臨時社員総会から

2024年3月14日 全国老人保健施設協会 第1回臨時社員総会が開催。

事業計画より

【総則】

- ・令和6年度かいお報酬改定による経営への影響を検証し、次回介護報酬改定に向けた議論に資する為の調査等の実施、老健施設の経営に甚大な影響を与えている物価高騰・賃上げ対策について、他団体（長野県高齢者協会様、長野県グループホーム連絡会様）との連携のうえ、必要な各種要望を行う。
- ・近年、相次ぐ大規模自然災害について、全老健災害相互支援プロジェクトDMS P (Disaster Mutual Support Project for ROKEN) の整備や周知を進め、災害への備えを強化。
- ・会員管理基幹システムを運用することにより、会員施設、各支部の事務手続きの効率化等を進める。

①「第36回全国介護老人保健施設大会 山口」 ※添付資料②を参照

令和7年11月27日（木）28日（金）に開催。

大会テーマ 昭和百年、老健 続く。想いをつなぎ 技を磨き 人をつなぐ

発表演題数 620演題（予定）

参加予定人員 2,500名（予定）

後援予定 厚生労働省、山口県、下関市、公益社団法人日本医師会、社会福祉法人全国社会福祉協議会 等

●主なプログラム

特別講演、教育講演、招待講演、シンポジウム、演題発表（口演・ポスター）、福祉・医療機器展、トークショー、市民公開講座、懇親会 等

●注目したいトピックス

- ・地域を丸ごと巻き込む在宅療養支援（多彩な社会における地域包括ケアシステム）
- ・介護・重度化予防に対する栄養・口腔ケア・リハビリの一体化

- ・介護家族を視点とする療養・看取り支援
- ・認知症の本質とポジティブ思考にもとづく論理的チームケアのあり方
- ・自然災害や感染に対する事前対策や対応（BCP）および人材危機

②教育事業

- ・開催方法については、Web 形式により開催するが、集合研修等の実施についても検討する。
- ・職員基礎研修事業、実地研修事業、管理者研修事業、中堅職員研修事業、リハビリテーション研修事業、管理医師総合診療研修事業、認知症ケア研修事業、看護職員研修事業、看取り研修事業、老健施設経営セミナー事業、新規加入施設研修事業

③認定資格制度事業について

※老健施設のサービスの質の向上を図るための各種認定資格制度事業

I・「管理医師総合診療研修事業」

「所定疾患施設療養費Ⅱ」と「かかりつけ医連携薬剤調整加算Ⅱ・Ⅲ」の算定要件の基準を満たす研修（医師対象）

II・「認知症ケア研修事業」

「認知症短期集中リハビリテーション実施加算」算定要件ならび「認知症患者リハビリテーション科」の施設基準となる、認知症に対するリハビリテーションに関する専門的な研修（医師対象）

III・「リスクマネジャー資格認定事業」

リスクマネジャーの養成講座、模擬試験、試験、資格更新等の実施事業
その他の研修事業については、今後企画・検討を行うと発表された。

④広報出版事業

- ・機関誌「老健」出版事業（年12回定期刊行）

- ・ICTを利用した広報活動

（スマートフォン・タブレット利用者向けの情報発信の強化。その他、ホームページ、メールマガジン、LINE公式アカウント、Facebookを利用し、各種最新情報を迅速に提供する。）

- ・「介護白書」の出版（年1回）（会員施設、関係団体（マスコミ・リハビリ専門学校等に送付。））

⑤災害対策事業について

- ・「全老健災害相互支援プロジェクトDMS P（Disaster Mutual Support Project for Roken）のあり方や周知について検討する。運営基準に定められている業務継続計画（BCP）の作成を支援する。

⑥会員支援事業

施設で発生するリスク対応するために、団体保険制度として、

「介護老人保健施設総合保障制度」「居宅介護事業者補償制度」「情報漏えい損害補償制度」「ハラスメント賠償責任保険制度」を会員施設に勧奨する。

⑦老健施設未来ビジョンワークショップ

- ・次世代の老健施設を管理するものを対象として、地域包括ケアシステムの発展に寄与するために今後の老健施設で求められる機能等について、ワークショップ形式にて議論する。

⑧社会保障制度委員会

- ・令和6年度介護報酬改定を踏まえて以下の活動を行う。
- ・介護保険制度や老健施設に関連する最新情報の提供
- ・介護保険制度等に関連する研修会等の企画・開催
- ・介護報酬改定前後の老健施設の施設運営及び施設経営実態等の把握を目的とした各種調査の実施
- ・介護保険制度を含む社会保障制度に関するあり方の検討、根拠データの収集分析
その他、社会保障制度等に関連する問題点・課題、要望等について検討する。

連絡事項（2）

ご当地ROKENくん 長野県版完成のお知らせ

全老健イメージキャラクターのROKENくんが、全国ご当地キャラクター版として完成。長野県バージョンのROKENくんの発表。

活用方法については、添付資料③をご参照ください。

※4月上旬に長野県老人保健施設協議会ホームページ掲載をいたします。

20 長野県 ROKENくん



長野県は、アルプスに囲まれた自然豊かな県であります。

里山登りやアルプス登山が盛んであることから、上記のイラストをイメージしていただきました。